

# 第7回 三重救急レジリエンス・システム研究会

患者の生命が危機に瀕している救急医療現場において、救急医療者には想像できないような精神的負担がのしかかります。我々はこのような現状を打破するには、高度のストレスにさらされても希望を忘れず折れない心(=レジリエンス)を、医療者のチームプレーでシステムチックに育む必要があると考えています

三重県内にいらっしゃる  
全ての医療従事者  
(特に看護師さん、研修医の先生)  
のご参加をお待ちしています

三重救急レジリエンス・システム研究会

代表世話人

三重大学 救命救急センター 教授 今井寛

三重大学地域救急医療リーダー育成センター 島岡要  
事務局

三重大学 救命救急センター 助教 川本英嗣

日時 平成29年12月1日 18:00—19:00

場所 三重大学医学部附属病院

総合医学教育棟 臨床第2講義室

## 特別講演

重症化する院内感染患者に対する新しい治療戦略の試み  
～救急・集中治療医が臨床現場から日々感じた思いから、  
基礎研究への道のり～

演者 比留間 孝広 先生 M.D., Ph.D.

東京大学救急科学教室 救命救急センター・救急部・集中治療部 助教

司会 三重大学 救命救急センター 助教 川本英嗣



### 演者紹介

比留間先生は2004年に富山大学を卒業され、市中病院での研修後に東京大学救急医学教室に入局され、臨床と基礎研究を両立して実践されている救急分野の若手physician-scientistの一人です。

忙しい救急現場で研究と臨床の両立の方法についてもお話しを伺いたいと思います。多数の若手医師、医学生の方々の出席をお待ちしています。

本件に関するお問い合わせ：  
三重大学医学部附属病院 救命救急センター  
川本英嗣 E-mail : a-2@umin.net

主催 三重大学地域救急医療リーダー育成センター  
共催 MUECC 三重大学 救命救急センター  
後援 NPO法人 MMC卒後臨床研修センター  
\*本セミナーは大学院セミナーに認定されています